

経済的困難を抱える子どもの 学び支援活動助成

複雑化する子どもの課題に対して、
中長期視点で取り組む団体を応援します。

最大
3年間
900万円

地域によって多様な子どもの課題に対し、支援を持続可能なものにしていくためには、担い手団体の事業基盤の強化や新たな事業へのチャレンジなど、中長期的な視点が必要と考えています。

最大3か年の支援を通して、中長期の視点を持った自立的な事業継続・発展を目指す団体を応援します。

活動テーマ例

- 中学卒業後に支援が途切れて高校中退する子をなくすため、高校生向け学習支援をはじめたい！
- 外国につながる子どもたちが学べる居場所を地域に作りたい！
- 助成金に頼らずに事業が継続できるよう、人材育成や資金調達の仕組みを構築したい！

3か年の活動イメージ



生活困窮家庭の小・中学生向けの学習支援をしてきたけど、高校進学後に中退する子が多い。地域の支援が途切れてしまうことで、子どもが再び経済的な理由で学びをあきらめてしまうのは残念。高校進学後も、オンラインでの学習支援を通して、子どもたちの高校中退予防に取り組みたい。

1年目

〈高校生向けにオンライン学習支援プログラムを開発・人材を育成〉

高校生向けに、オンライン学習プログラムを開発。マニュアルを整備して、支援者向け研修を実施したい。

2年目

〈高校生年代の居場所を提供〉

高校生年代の居場所を立ち上げ、中退や引きこもりの防止に向けて、地域内の子ども支援機関とつながり、ネットワーク協議会を作りたい。

3年目

〈エビデンスをもとに
高校中退予防を地域で制度化〉

高校中退率が減少したなどの成果をベースに行政などとも連携し、高校中退予防を地域で制度化したい。

募集期間

2021年11月24日(水)～2022年1月7日(金) * 必着

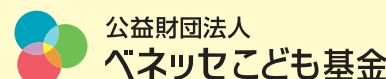
2022年度 経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成



応募要項、申請書フォーマット、個別相談会の実施方法など、詳細は当財団サイトの助成ページをご確認ください。
申請書の記入方法の説明動画もご覧いただけます。 <https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/>

内容	<p>日本全国の地域において、経済的な困難を抱える子どもたちを取り巻く社会課題はますます多様化・複雑化しています。それらの課題解決に取り組む団体に対して、<u>自立的な事業継続や新たな事業へのチャレンジに中長期で取り組む事業(団体)</u>に、複数年(最大3か年)の助成を行います。</p> <p>※「経済的困難」には、さまざまな要因で生じる経済的な困窮に付随する子どもの複合的な困難も含まれます。 ※「現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組み」もしくは「新たな事業の立ち上げ」のいずれかを助成します。</p> <p>現在の事業の自立的な継続・発展のための取り組みは、テーマを明確にした計画を立案いただきます。(複数テーマについての取り組み可)</p> <table border="1" data-bbox="316 573 1474 987"><thead><tr><th>テーマ</th><th>取り組み(例)</th></tr></thead><tbody><tr><td>①子ども支援活動の質向上</td><td>・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発</td></tr><tr><td>②子ども支援活動の普及・拡大</td><td>・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開</td></tr><tr><td>③ネットワーク構築・政策提言</td><td>・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言</td></tr><tr><td>④事業基盤の強化・業務改善</td><td>・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備</td></tr><tr><td>⑤その他のテーマ</td><td>①～④にあてはまらないテーマ</td></tr></tbody></table>	テーマ	取り組み(例)	①子ども支援活動の質向上	・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発	②子ども支援活動の普及・拡大	・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開	③ネットワーク構築・政策提言	・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言	④事業基盤の強化・業務改善	・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備	⑤その他のテーマ	①～④にあてはまらないテーマ
テーマ	取り組み(例)												
①子ども支援活動の質向上	・ 専門家を招いての人材研修 ・ 教材・プログラム開発												
②子ども支援活動の普及・拡大	・ 学び支援プログラムの普及活動 ・ 他地域への拠点展開												
③ネットワーク構築・政策提言	・ 地域の関係機関とのネットワーク強化 ・ エビデンスを基にした政策提言												
④事業基盤の強化・業務改善	・ 資金調達のための仕組みづくり ・ スタッフ間の情報共有ツールの整備												
⑤その他のテーマ	①～④にあてはまらないテーマ												
助成対象団体	<ul style="list-style-type: none">●上記助成テーマで活動を行っている非営利団体 (特定非営利活動法人(NPO)、財団法人、社団法人、社会福祉法人など)●「助成決定後の義務・条件」に同意いただける団体 ※法人格が無くても申請可能ですが、個人名義の口座への助成金の振り込みはできません。 ※原則として営利団体への助成は行いません。												
対象活動期間	2022年4月1日から2025年3月31日まで(最大3年間)												
助成金額	1件あたり、最大3か年で総額900万円以内 ※助成金額は、年度ごとに、申請された事業計画・予算を審査の上決定します。 ※収入見込みに自治体の補助金や他の公共法人等の助成金が含まれていても応募できます。												
応募方法	当財団ホームページ(https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/)のフォーマットに、必要事項を記載のうえ、以下の方法でお送りください。 <ul style="list-style-type: none">・メールの場合: kodomokikin@grop.co.jp・郵送の場合: 〒277-0831 千葉県柏市根戸206-3 北柏ビル2F (株)グロップ内 ベネッセこども基金助成事務局												
問い合わせ先	<p>TEL: 04-7137-2570 ※月～金 10:00～17:00 ※祝日、2021年12月27日～2022年1月4日を除く ※通話中などによりつながりにくい場合がございます。あらかじめご了承ください。</p> <p>●個別相談会 申請書の具体的な記載方法などオンラインによる個別相談会を承っております。 期間 2021年12月6日(月)～2021年12月24日(金) 月～金 10:00～17:00</p> <p>●オンライン説明会 申請を検討されている団体様向けに、助成主旨・申請書のポイント解説や質問にお答えします。</p> <p>詳細は当財団サイトの助成ページ (https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/) をご覧ください</p>												

ベネッセこども基金は、「未来ある子どもたちが安心して自らの可能性を広げられる社会」の実現を目的として、2014年10月31日にベネッセグループによって「一般財団法人ベネッセこども基金」として設立、2015年4月1日に公益財団法人に移行しました。当財団は、子どもたちが自ら学ぼう、伸びようとする力を十分に発揮できるよう、子どもたちを取り巻く社会的な課題の解決及び多様な学びの機会の提供に取り組めます。



公益財団法人
ベネッセこども基金

所在地: 〒206-8686 東京都多摩市落合 1-34
<https://benesse-kodomokikin.or.jp>